

経営者育成プログラム 経営コース

医療法人 山容会

山容病院

地域に役立つ道を常に探し、 その考えを内外に伝える具体的手法を学ぶ

経営理念

自身の経営理念を明確に打ち出すことが大切です。

先代から受け継がれるものがあったとしても、変え続ける姿勢がないと伝統は維持できません。

当法人では「地域の要望に応える」を基盤として「のむ治療から学ぶ治療へ」を打ち出しています。

社会的価値の創造

そもそも経営とは社会に価値を生み出すことであり、続けることそのものが目的なのではありません。

人員の確保、建築などインフラの整備をしながら、地域に役立つ道を常に探しています。そのような考えを内外にどう伝えるか、具体的な手法を学んでいきます。全てが記録されたり発表されたりするわけではなく、同じ空間にいて近くで見ないと分からないことは多いです。

1 自己の法人の権力統制、意思決定の仕組みについて習熟する

- ④ 法人形態によって組織構造に違いはありますが、だからこそまずは自己の法人の権力統制、意思決定の仕組みについて習熟する必要があります。現場を全く知らない人々によって方針が一夜にして変わるなどの状況を避けるため、権力基盤を安定させることが大切です。

2 定期的な内部への発信機会

- ④ 内部への発信機会として定期的に職員全体集会で理事長がスピーチしています。事業計画については理事会で承認されたものを経営会議の議事録として職員に公開していますが、それに留まらず、全体集会の場で理事長が職員に直接説明しています。その際の伝え方について準備段階から間近に触れることができます。

3 外部とのつながりを意識し、啓発活動にも力を入れる

- ① 外部とのつながりを強く意識しています。医師会などの外部業務、市の諮問会議での自殺対策や障害福祉計画関連の座長業務、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットへの参加、特別支援学校の管理学校医などを行っている様子をリアルタイムで見ることができます。
- ② 啓発活動に力を入れています。行政機関からの依頼が多いが、地元で活動を続ける NPO からの場合もあります。地元保健所が続けている依存症関連の事業に長年協力しており、依存症専門医療機関として選定される一因となりました。このように外部からのニーズに対して行動で応えることが重要であり、その実践について学ぶことができます。

4 資料をチェックし、本当に必要な情報へアクセスする

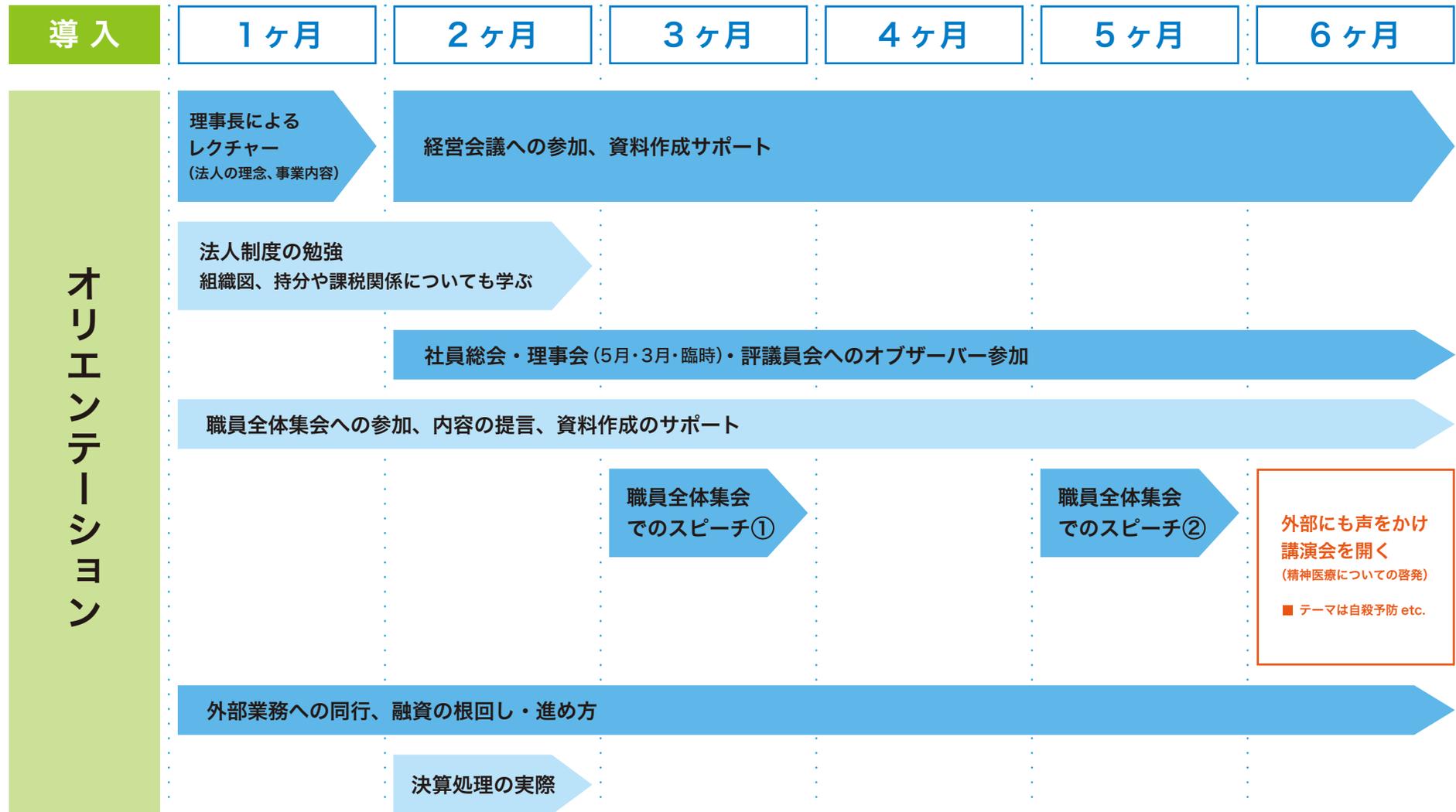
- ① 財務指標を人任せにせず自分で読むことは大切です。資料が読み込めない場合、不勉強ばかりが原因ではなく、資料作成に問題がある場合も多いものです。経営に時間と労力を割く以上は、その礎となる資料の実用性をチェックし、本当に必要な情報へのアクセスを求める必要があります。その性質上、**外部に公開するものではないため、中で働きながら経営を学ぶ立場になり、生の数字を見る**といいでしょう。

5 臨床業務との両立をしながら経営戦略を立案するために

- ① 200床規模の病院だと経営だけに専念することは困難です。当院では、臨床業務との両立のため、細かなノウハウを積み重ねています。同規模の病院は例外なく、今後生き残りをかけて改革していくこととなります。個々の病院の置かれた事情により生き残り戦略は異なります。そのため、**戦略そのものだけでなく、その立案プロセスを学ぶことにも意義があります。**それは、経営者と多くの時間を共にすることでしか学べないのではないのでしょうか。

経営コースのスケジュール

① 1ヶ月～6ヶ月



※臨床コース・管理コースのエッセンスがベースとなるため、**管理コースのプログラム**も一部継続して行います。

経営コースのスケジュール

② 7ヶ月～12ヶ月

